

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 27 日現在

機関番号：12703

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2014～2016

課題番号：26780144

研究課題名(和文) 関係的契約と組織内の協力行動に関する研究

研究課題名(英文) Research on Relational Contracting and Cooperation in Organizations

研究代表者

石原 章史 (Ishihara, Akifumi)

政策研究大学院大学・政策研究科・助教授

研究者番号：80643668

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は契約理論の分野で近年注目されている関係的(暗黙的)契約を対象とし、特に関係的契約と組織設計の相互関係について理論的に明らかにすることを試みた。具体的には、企業組織において複数の従業員と複数の業務(タスク)が存在することを想定し、以下の4点を中心的に明らかにした。(i) 関係的契約と協力的タスクによるチームワークの関係性 (ii) タスク配分による関係的契約を通じた相互監視体制の構築への影響 (iii) パートナーシップ組織でのタスク配分による関係的契約への影響 (iv) 逐次的なタスクのもとでの監視の影響。

研究成果の概要(英文)：This research project theoretically investigated relational (implicit) contracting, which is recently growing in the literature of contract theory, and particularly focused on interaction between organizational design and relational contracting. Specifically, the following four issues were investigated: (i) relational contracting and teamwork through cooperative tasks; (ii) effects on peer monitoring through task allocation in relational contracts; (iii) effects of task allocation on relational contracting; (iv) effects of monitoring in sequential task organizations.

研究分野：契約理論、産業組織論、政治経済学、組織の経済学、

キーワード：契約理論 組織の経済学

1. 研究開始当初の背景

企業内での賃金やボーナスは組織内のインセンティブを大きく左右するが、賃金やボーナスは客観的な業績指標に基づいた法的な契約に加えて、企業内部での主観的な業績指標に基づいた暗黙的な約束によって決定されることが観察されている。通常、主観的な業績指標に基づく約束は裁判所などの外部機関に認められず法的な強制力を持たない。よって、そのような約束は代わりに長期関係などによって自己拘束的に執行される仕組みを必要とする。近年の契約理論の研究では、この暗黙的な約束が長期関係に基づいて遂行される関係的契約 (Relational Contract) の特徴を分析する手法が徐々に確立されていった。企業内部で観察されている暗黙的な約束という現象そのものを分析する研究は蓄積されてきたが、関係的契約と内部組織の設計との関係性についての研究はまだ途上であった。組織とは本来複数の主体 (従業員あるいは部署) と複数の業務 (タスク) で構成されており、それぞれの主体がどのようにタスクに携わるのか、あるいはどのタスクにどの主体を配置するのか、という点は組織の設計の根幹である。しかし、主体とタスクがそれぞれ複数存在する状況に着目し関係的契約の特性を分析した研究はまだ発展途上であった。

2. 研究の目的

本研究では複数の主体が存在する組織内におけるタスクの配分を組織設計と考え、タスク配分と関係的契約との関連性を理論的に分析し、組織内に内在するインセンティブ問題に対する組織設計への理論予測・含意を引き出す。

より具体的には複数のエージェントが存在する状況下でのタスクの配分の比較という契約理論での新しい理論的モデルを提供する。また、組織の設計において関係的契約の影響は間接的で見えにくいが無視できない大きさがあり、それを理論的な形で表現し、実証研究や現実の組織設計への含意を提供する。

3. 研究の方法

特に「業務 (タスク) の配分に基づく組織の設計」と「関係的契約」の相互関係に焦点を当て、理論モデルを構築し分析する。具体的には以下の 4 つの課題を主な論点とする。

(1) 協力的タスクによるチームワークの構築: 他の主体をサポートするタスクによるチームワークの形成と関係的契約との関連性を分析する。

(2) タスク配分による相互監視体制への影響: 組織が抱えるタスクの配分と関係的契約を通じた主体間同士の監視体制の構築との関連性を分析する。

(3) パートナシップ組織での影響: パートナシップ組織におけるタスク配分と関係的契約によるインセンティブの関連性を考察する。

(4) 逐次的タスクの環境での監視体制の影響: 逐次的にタスクが配置されている状況下で、前のタスクを行う主体を後ろのタスクを行う主体が監視することの是非を考察する。

4. 研究成果

研究期間全体を通じて、上記 4 つの課題に対応して 4 つの関係的契約と組織設計に関する研究プロジェクトを進行させ、以下のような結果を得た。

(1) 業績指標が立証不可能で関係的契約によりインセンティブを与えるという状況で、各主体が自分のタスクに加えて他の主体をサポートする業務をどの程度行わせるべきかどうかを考察し、その結果選択される組織体系は「サポートのない分業体制」か「非常に協力的なチームワーク」のどちらかになり、中間の形態は取られないことを示した。

(2) 業績指標が立証不可能で関係的契約によりインセンティブを与えるという状況で、非生産的行動への (暗黙の) 共謀を考慮に入れる必要がある場合に、各主体の業績指標による評価と共通の業績指標による評価のどちらが望ましいかを考察し、各主体の割引因子が高くなり将来をより大きく評価するようになると、共通の業績指標を用いた方が望ましくなる傾向を示した。

(3) 業績指標が立証不可能で関係的契約によりインセンティブを与えるという状況で、複数の業務がある中で、それらの業務を複数の労働者に分けるか 1 人に集中させるかのどちらが望ましいかを考察し、割引因子が高くなり将来をより大きく評価するようになると、業務を複数の労働者に割り振る傾向にあることを示した。

(4) 複数の主体が逐次的にインセンティブ問題を抱える状況において、最初の主体の行動を後ろの主体が観察できるかという透明性の是非を考察し、透明性の望ましさは各エージェントの業績指標の尤度比によって決まり、透明な組織ではチーム業績評価、非透明な組織では相対業績評価を組み合わせる傾向にあることを示した。

これらの研究プロジェクトは公刊論文が 1 本、現在査読雑誌投稿中の論文が 2 本、近日中に査読雑誌に投稿予定の論文草稿が 1 本、の計 4 本の論文として完成させた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計1件)

1. Akifumi Ishihara, "Relational Contracting and Endogenous Formation of Teamwork," RAND Journal of Economics, (2017), 48(2):335-357, onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/1756-2171.12178/abstract (査読有)

[学会発表](計19件)

1. Akifumi Ishihara, "Individual versus Team Signals in Relational Contracts," 2017年03月03日, Contract Theory Workshop East, 一橋大学(東京都国立市)

2. Akifumi Ishihara, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2016年09月23日~2016年09月24日, 2nd Workshop on Relational Contracts, Spain (Madrid)

3. Akifumi Ishihara, "Dispersion and Aggregation of Signals in Relational Contracts," 2016年08月26日~2016年08月28日, EARIE2016, Portugal (Lisbon)

4. Akifumi Ishihara, "Dispersion and Aggregation of Signals in Relational Contracts," 2016年08月11日~2016年08月13日, AMES2016, 同志社大学(京都府京都市)

5. Akifumi Ishihara, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2016年07月24日~2016年07月28日, GAMES2016, Netherlands (Maastricht)

6. Akifumi Ishihara, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2016年03月26日, Presentation Workshop for Young Economists, 大阪大学(大阪府大阪市)

7. Akifumi Ishihara, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2016年03月19日, Contract Theory Workshop, 関西学院大学(大阪府大阪市)

8. Akifumi Ishihara, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2015年08月28日~2015年08月30日, EARIE2015, Germany (Munich)

9. Akifumi Ishihara, "Transparency and

Performance Evaluation in Sequential Agency," 2015年08月12日~2015年08月13日, Tokyo Conference of the Osaka Workshop on Economics of Institutions and Organizations, 東京大学(東京都文京区)

10. Akifumi Ishihara, "Transparency and Performance Evaluation in Sequential Agency," 2015年07月10日, Contract Theory Workshop East, 一橋大学(東京都国立市)

11. 石原章史, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2015年05月23日~2015年05月24日, 2015年日本経済学会春季大会, 新潟大学(新潟県新潟市)

12. 石原章史, "Relational Contracting and Endogenous Formation of Teamwork," 2015年01月23日, 関西労働研究会, 大阪大学(大阪府大阪市)

13. Akifumi Ishihara, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2014年12月19日, The Osaka Workshop on Economics of Institutions and Organizations, 大阪大学(大阪府豊中市)

14. Akifumi Ishihara, "On Multitasking and Job Design in Relational Contracts," 2014年11月21日, Contract Theory Workshop East, 一橋大学(東京都国立市)

15. Akifumi Ishihara, "Moral Hazard with Multiple Agents and Hierarchy Structure," 2014年10月18日, Contract Theory Workshop, 京都大学(京都府京都市)

16. 石原章史, "Moral Hazard with Multiple Agents and Hierarchy Structure," 2014年10月11日~2014年10月12日, 2014年日本経済学会秋季大会, 西南学院大学(福岡県福岡市)

17. Akifumi Ishihara, "Relational Contracting and Endogenous Formation of Teamwork," 2014年08月29日~2014年08月31日, EARIE2014, Italy (Milan)

18. 石原章史, "Task Assignment in Partnership with Team Production," 2014年08月5日~2014年08月7日, 契約理論研究会夏季集中研究会, 高知大学(高知県高知市)

19. Akifumi Ishihara, "Relational Contracting and Endogenous Formation of Teamwork," 2014年06月19日~2014年

06 月 22 日, ES-NASM, USA (Minneapolis)

〔その他〕

ホームページ等 : www3.grips.ac.jp/~a-ishihara

6 . 研究組織

(1)研究代表者

石原 章史 (ISHIHARA, Akifumi)
政策研究大学院大学・政策研究科・助教授
研究者番号 : 80643668